



SOMPOアセットマネジメント

A Theme Park for Security, Health & Wellbeing

# 経済・金融市場見通し

2023年7月

2023年7月20日発行

SOMPOアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者関東財務局長（金商）第351号  
加入協会／一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

# 経済・金融市場見通し： 国内

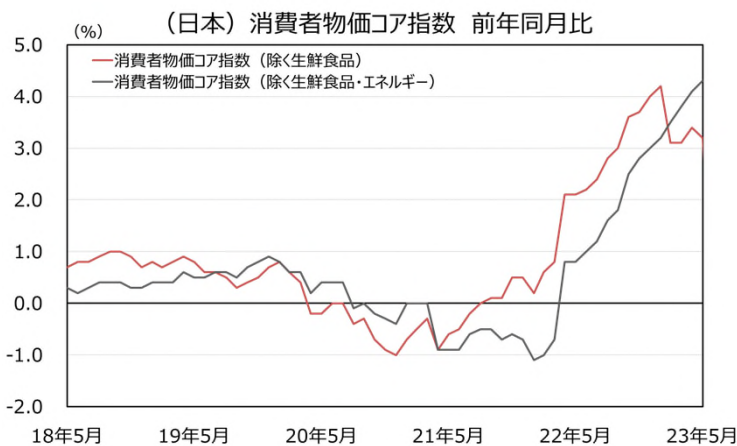
## 経済環境

### ：景気回復は緩やかなものになる

日本経済については、金融緩和の継続、入国制限撤廃によるインバウンド需要の回復などが景気を下支えし、緩やかながらも景気回復が継続すると考えます。ただし、人手不足による供給制約や人件費増大による企業収益の悪化、海外景気の減速などにより、景気回復は緩やかなものになると予想します。

物価については、5月の消費者物価指数（除く生鮮食品）は前年比3.2%（4月3.4%）となりました。今後は、前年対比で食料品価格等が下落に転じることから、年後半にかけて2%台の伸び率に鈍化すると予想します。一方、5月の毎月勤労統計では、春闘による賃上げの影響が表れ、現金給与総額が前年比2.5%（4月0.8%）、実質賃金は前年比▲1.2%（4月▲3.2%）となりました。今後は、インフレ率の鈍化と賃金上昇の持続により、実質賃金がプラスに転じることが注目されます。

植田日銀総裁は、世界経済の下振れリスクが高いなかでの早急な金融正常化には否定的な発言を繰り返しており、賃金上昇の継続的な定着が見られるまでは現行の金融緩和政策を継続する意向を示しています。ただし、内外の金融政策見通し格差により円安が進行する場合は、イールドカーブ・コントロール政策の修正など対応を迫られる可能性があると考えます。



## 債券市場

### ：日銀新体制の戦略修正観測から、金利上昇圧力が高まると予想

#### ◆ 前月の振返り

6月の10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

6月の決定会合では金融政策が維持され、今後についても緩和的政策の継続が示唆されたことで、金融正常化時期も後ろ倒しの見通しとなったことが、金利の下押し圧力となりました。

#### ◆ 見通し

今後については、金利上昇圧力が徐々に高まると予想します。

植田新体制における日銀の姿勢を勘案すると、政策金利の変更までは当面見込み難いと考えます。一方、円安基調からインフレ懸念は依然根強く、イールドカーブコントロール政策の修正を想定した金利上昇圧力が徐々に高まると予想します。



	23年3月末 実績値	23年6月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
国内債券 10年国債利回り	0.32%	0.40%	0.75%	0.75%	0.75%	0.75%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でS O M P Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、S O M P Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

# 経済・金融市場見通し： 国内

## 株式市場

### ： 上値が重くなると予想

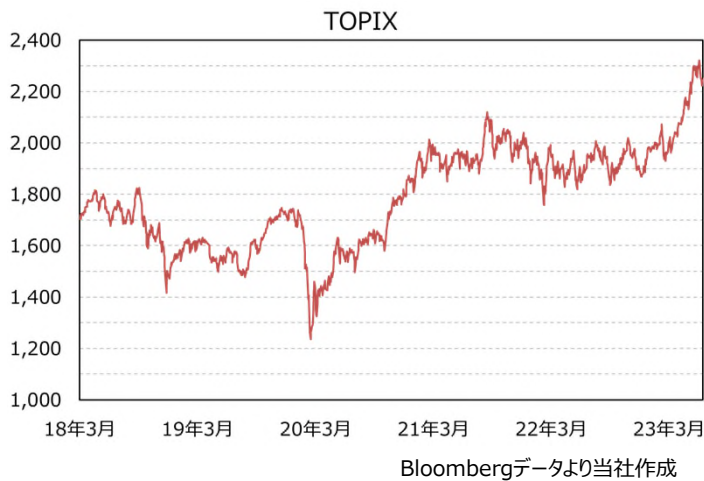
#### ◆ 前月の振り返り

6月の国内株式市場は、相対的に良好な経済・金融環境見通しを背景に海外投資家を中心として大型株に買いが集まり、6か月連続で上昇しました。

#### ◆ 見通し

今後については、上値が重くなると予想します。

企業業績については、国内の経済活動正常化や円安効果などのプラス材料はあるものの、海外主要中央銀行の引き締め的な金融政策が経済に及ぼすマイナス影響を考えると、大幅な改善は見込み難いと考えます。バリュエーションについては、海外投資家を中心に景況感の改善や東証の要請に応じた企業の資本効率改善への期待などを相応に織り込んでいることから、更なるプラス材料がない限りは、市場参加者の先行きへの期待が一段と高まっていく状況とはなり難いと考えます。



	23年3月末 実績値	23年6月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
国内株式 TOPIX	2,003.50	2,288.60	2,150	2,150	2,250	2,300

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

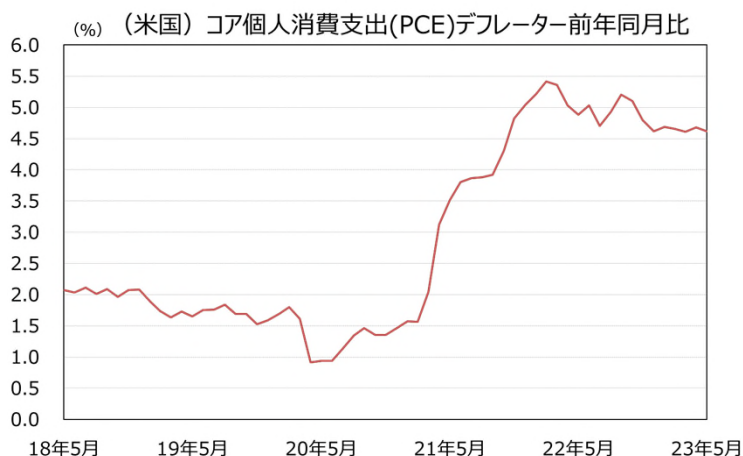
## 経済環境

### ：景気減速の継続を予想

米国経済については、金融政策の引き締め効果が本格的に発現することが想定され、減速が継続する展開を予想します。

個人消費支出価格指数は、変動の大きい食品とエネルギーを除くコア指数で、5月は前年比4.6%（4月4.7%）となりました。また、6月の失業率は3.6%（5月3.7%）となりました。

6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では、22年3月から続いた政策金利の引き上げが11回分に停止されましたが、先行きの見通しで年末までに2回の追加利上げが示唆されました。パウエルFRB（米連邦準備理事会）議長はデータ次第との方針は続けながらも、その後の議会証言でも同様の考えを示唆しており、今後の追加利上げの動向が注目されます。



## 債券市場

### ：景気後退懸念で金利上昇圧力が弱まるものの、金利低下余地は限定的と予想

#### ◆ 前月の振返り

6月の米国10年債の利回りは上昇（価格は下落）しました。

労働市場が比較的堅調であったことで、今後の政策金利が高位に長期間据え置かれるとの見通しが強まり、長期金利は上昇しました。一方、今後の景気後退見通しが強まったことで、超長期国債金利は低下しました。

#### ◆ 見通し

今後については、金利上昇地合いは収まり、当面、横ばい圏での推移を予想します。

物価水準がFRBの目標程度まで落ち着く状況が見通せず、金融政策の緩和転換が見通せない状況にあるため、金利は低下しにくい状況が当面続くと考えます。一方で、金融市場に対する不安の再燃や景気悪化懸念が払拭されないことから、金利上昇余地も限られると考えます。



Bloombergデータより当社作成

	23年3月末 実績値	23年6月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
米国債券 米国10年国債利回り	3.47%	3.84%	3.80%	3.70%	3.50%	3.30%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

# 経済・金融市場見通し： 米国

## 株式市場

：金融引き締め継続を想定も、金利低下期待もあり一進一退の展開を予想

### ◆ 前月の振り返り

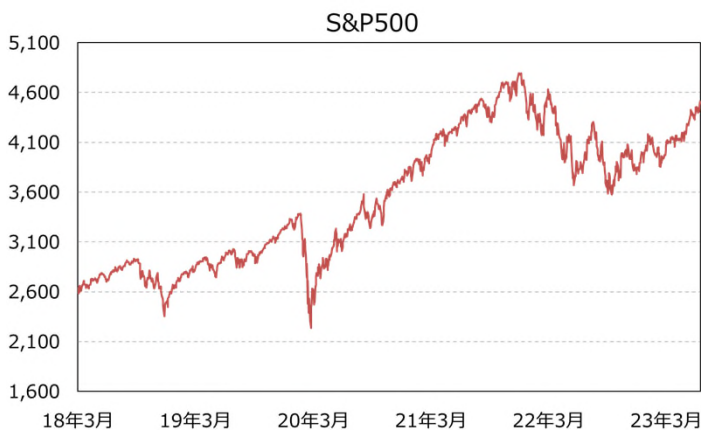
6月の米国株式市場は上昇しました。

月初、堅調な米雇用統計を受けて、株式市場は上昇した。その後、議会証言におけるパウエルFRB議長のカシ派姿勢への警戒から下落したものの、月末には米GDP確報値が上方修正され、堅調な米国経済が改めて確認された結果、月間では上昇しました。

### ◆ 見通し

今後の株式市場については、一進一退の展開を予想します。

米地銀を巡る信用不安によって厳格化した融資姿勢が実体経済に悪影響を与えることや、FRBによる利上げ再開が懸念される一方で、更なる金利上昇余地は限定的であることや、景気後退や信用不安の局面では政策対応が期待できることから、好悪材料が入り混じった一進一退の展開を予想します。



## 為替市場

：米国の利上げ継続観測から当面はドル高圧力かかるが、その後は円高傾向を予想

### ◆ 前月の振り返り

6月のドル円相場は、円安ドル高となりました。

米国で6月の利上げは見送られたものの、年内2回の追加利上げが示唆された一方で、日銀は金融緩和政策の継続を決定したため、日米の金融政策格差が意識され、円安ドル高が進行しました。

### ◆ 見通し

今後については、当面は現状程度の横ばい圏の動きを予想します。

引き続き資源輸入による日本の貿易赤字や日本の金融緩和継続や米国の金融引き締め期間の長期化観測が、円安ドル高要因になると予想します。一方で、これまでの大幅な利上げによる米国の景気減速懸念や金融システム不安の再燃がドル安要因となり、徐々に円高方向に推移すると予想します。



Bloombergデータより当社作成

	23年3月末 実績値	23年6月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
米国株式 S&P500	4,109.31	4,450.38	4,100	4,250	4,300	4,350
為替 米ドル/円	133.09	144.54	140.00	138.00	137.00	135.00

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

# 経済・金融市場見通し： 欧州

## 経済環境

### ：潜在成長率以下への減速を予想

欧州経済については、物価の高騰が消費に与える影響や、引き締めの金融政策が経済活動に及ぼす影響等が懸念され、潜在成長率以下に減速する展開を予想します。

物価については、6月の消費者物価指数は変動の大きい食品とエネルギーを除くコア指数で前年比5.4%（5月5.3%）となりました。

6月のECB（欧州中央銀行）理事会では0.25%の追加利上げが決定され、7月についても利上げが続くことが示唆されました。一方、ユーロ圏は既に2四半期連続で前期比マイナス成長となっており、今後、ECBは景気とインフレ対策の間で難しい舵取りが要求されます。

## 債券市場

### ：中銀のデータ重視姿勢により、当面は不安定な動きを予想

#### ◆ 前月の振り返り

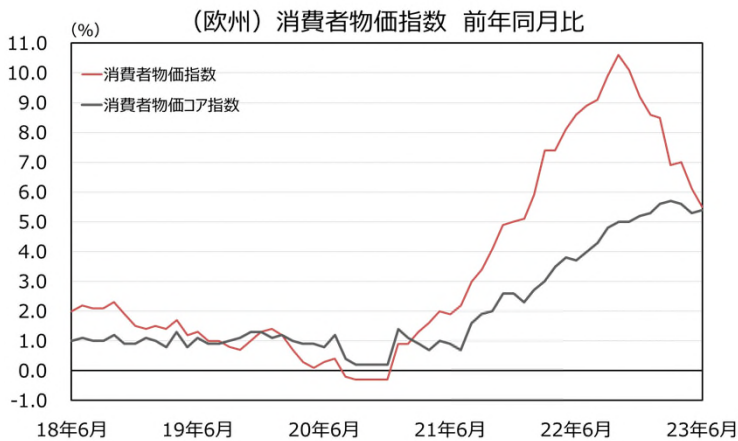
6月のドイツ10年債の利回りは小幅に上昇（価格は下落）しました。

前月に続き、ECB高官から政策金利の引上げに関する発言が繰り返されたことや、物価の高止まりが意識されたことで、金利は上昇しました。経済的なつながりが強い英国が政策金利を大幅に引き上げたことも金利の上昇圧力になりました。

#### ◆ 見通し

今後について、ドイツ債券市場は、当面は不安定な相場推移になると見込みます。

基調的な物価上昇が早期に転換する可能性は低く、金利上昇圧力は継続すると考えます。一方で、景気悪化懸念が利回りの低下圧力となることや、ECBがデータ重視の姿勢を示していることから、当面、金利は不安定な動きになると考えます。



	23年3月末 実績値	23年6月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
欧州国債 ドイツ10年国債利回り	2.29%	2.39%	2.55%	2.40%	2.35%	2.20%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

# 経済・金融市場見通し： 欧州

## 株式市場

：金融引き締め継続を想定も、金利低下期待もあり一進一退の展開を予想

### ◆ 前月の振返り

6月の欧州株式市場は上昇しました。

月初、堅調な米雇用統計を受けて、株式市場は上昇した。その後、ECBの利上げ長期化や中国の景気後退への懸念から下落したものの、月末には米GDP確報値が上方修正され、堅調な米国経済が改めて確認された結果、月間では上昇しました。

### ◆ 見通し

今後の株式市場については、一進一退の展開を予想します。

欧州金融機関の信用不安によって厳格化した融資姿勢が実体経済に悪影響を与えることや、政策当局はインフレ抑制姿勢を継続していることが懸念される一方で、更なる金利上昇余地は限定的であることや、景気後退や信用不安の局面では政策対応が期待できることから、好悪材料が入り混じった一進一退の展開を予想します。



## 為替市場

：ECB利上げ観測とユーロ圏の景気後退懸念から横ばい圏を予想

### ◆ 前月の振返り

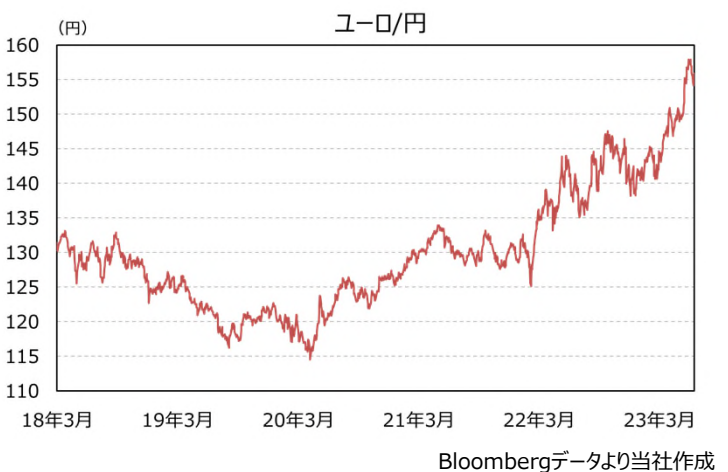
6月のユーロ円相場は、円安ユーロ高となりました。

ECBが利上げを実施し、ラガルド総裁が7月の利上げを示唆した一方、日銀は金融緩和の継続を決定し、日欧の日米の金融政策格差が意識され、円安ユーロ高が進行しました。

### ◆ 見通し

今後については、横ばい圏内での推移を予想します。

ECBがインフレに対処し金融引き締めを継続することや、日本の金融緩和の長期化観測が円安ユーロ高要因になると考えます。一方、脱炭素化や脱ロシア依存を進めるなかでユーロ圏のエネルギー価格は下がりにくいことやユーロ圏の景気低迷などから、ユーロの上昇幅は限られると考えます。



	23年3月末 実績値	23年6月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
欧州株式 MSCI EUROPE指数	1,860.70	1,867.67	1,800	1,850	1,880	1,890
為替 ユーロ/円	144.60	157.69	155.40	153.18	152.07	148.50

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

## 経済環境

### ：中国は景気鈍化 新興国は金融引き締めが景気に下押し

中国では、外需不振を背景に6月の製造業PMI(購買担当者指数)が景気縮小を示唆する水準に推移したほか、6月に実施されている大型ECサイトの販促キャンペーンで売上高が伸び悩むと伝わっており、景気の鈍化が続いています。

政策面では、これまでは中国政府が景気刺激策の追加実施を積極的に行っていませんでしたが、景気悪化が急ピッチに進んでいることを受けて、住宅市場向けの追加的な支援策や、自動車、家電向けの消費刺激策など、景気重視の政策運営への転換が実施される機運が高まると考えます。

新興国においては、これまでの利上げの累積効果や先進国の景気減速を受けて、当面は景気が減速すると思われるますが、内需が総じて底堅いなかで、インフレ圧力の緩和から利上げを停止する国も増えつつあり、年央には持ち直し傾向に転じる可能性が高いと考えます。

## 債券市場

### ：利下げ開始を睨み、利回りは徐々に低下すると予想

#### ◆ 前月の振返り

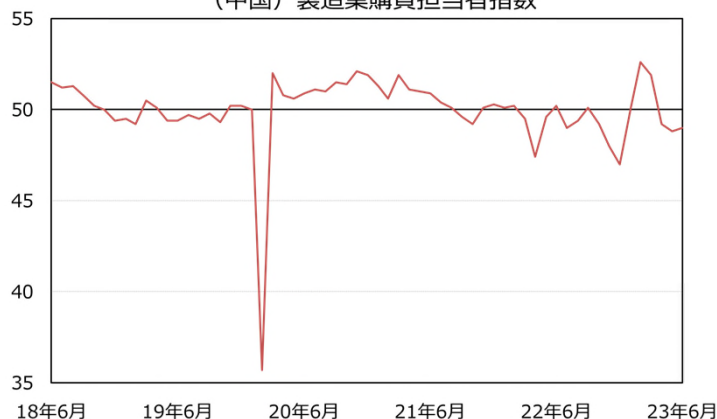
6月の新興国債券市場の利回りは低下（価格は上昇）しました。

インフレ圧力が鎮静化するなかで中央銀行総裁が利下げ開始に言及したブラジルや、消費者物価が低下しつつある南アフリカやメキシコ等の利回りが低下しました。

#### ◆ 見通し

今後については、新興国においてもインフレ圧力の緩和から利下げ開始を睨んでいる国も増えつつあり、今後の利回りは徐々に低下すると考えます。

(中国) 製造業購買担当者指数



(%) JPMorgan 新興国債券指数 (利回り) (注1)



Bloombergデータより当社作成

	23年3月末 実績値	23年6月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
新興国債券 JPMorgan新興国債券指数 (利回り) (注1)	6.52%	6.24%	6.20%	6.10%	6.00%	5.90%

予測値は予想レンジの中心値を記載

(注1) JPMorgan GBI-EM Global Diversified Index Excluding BB- Rated CountriesについてBloombergデータより当社作成

■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。



# 経済・金融市場見通し： 新興国

## 株式市場

### ：金融引き締めから、一進一退の展開を予想

#### ◆ 前月の振返り

6月のエマージング株式市場は上昇しました。

月前半、堅調な米雇用統計に加えて、中国人民銀行が政策金利である7日物リバースレポ金利を10か月ぶりに引き下げたことで、追加的な金融緩和策や景気刺激策への期待が高まり、株式市場は上昇しました。その後、月半ばに開催された中国国務院常務会議で具体的な景気刺激策の発表がなかったことを嫌気して株価は下落したものの、月間では上昇しました。

#### ◆ 見通し

今後の株式市場については、一進一退の展開を予想します。

外需不振や住宅販売の回復の鈍さなど中国景気が軟調に推移している一方で、7月後半に予定されている中国共産党の中央政治局会議で、インフラ投資や内需拡大などを巡る経済刺激策への期待が株式市場を下支えすると考えるため、エマージング株式市場は、好悪材料が入り混じった一進一退の展開を予想します。

## 為替市場

### ：米国の利上げ終了とともに、上昇に転ずると予想

#### ◆ 前月の振返り

6月の新興国通貨は、対ドルでは下落しましたが、円安が進行したため、対円では上昇しました。

インフレの鎮静化から利下げ開始が期待されたブラジルレアルや、電力不足解消に向けた政府の取り組みが評価された南アフリカランド等が上昇した一方で、大幅利上げを決定したものの市場予想を下回ったうえ、為替介入の停止が報道されたトルコリラや、人民銀行が政策金利を引き下げた中国人民元等がドルに対して下落しました。

#### ◆ 見通し

今後については、各国のファンファメンタルズによってまちまちな動きになると思われませんが、新興国通貨全体としては、米国の利上げ局面の終了にともなって、上昇に転じると考えます。

MSCI エマージング・マーケット指数



JPMorgan 新興国通貨指数 (円ベース) (注1)



Bloombergデータより当社作成

	23年3月末 実績値	23年6月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
新興国株式 MSCI エマージング・マーケット指数	59,416.19	59,844.07	58,500	60,000	62,000	64,000
為替 JPMorgan 新興国通貨指数 (円ベース) (注1)	6,764.17	7,093.78	7,070	7,038	7,056	7,020

予測値は予想レンジの中心値を記載

(注1) JPMorgan Emerging Market Currency Index Live SpotとBloombergデータより当社作成

■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

## 各資産クラスのリターン実績

青色は期間中に最も高いリターンであった資産クラス、  
赤色は期間中に最も低いリターンであった資産クラスをそれぞれ意味します。  
(国内株式のバリュートリプル指数・グロース指数、外国債券の円ヘッジ、および短期資産を除く)

2023年6月末時点

	国内債券	国内株式	国内株式		外国債券	円ヘッジ	外国株式	新興国債券	新興国株式	短期資産
			バリュートリプル指数	グロース指数						
過去1ヶ月間	0.3%	7.5%	10.2%	4.9%	3.9%	-0.9%	9.9%	7.2%	7.5%	0.0%
過去3ヶ月間	0.4%	14.4%	17.5%	11.9%	7.6%	-2.1%	16.2%	11.8%	9.7%	0.0%
過去1年間	0.1%	25.7%	29.5%	23.0%	4.2%	-6.9%	26.8%	19.9%	8.7%	0.0%
過去3年間(年率)	-0.9%	16.4%	22.4%	10.7%	3.9%	-6.8%	24.8%	9.7%	13.2%	0.0%
過去5年間(年率)	-0.3%	8.3%	9.1%	7.7%	4.1%	-2.1%	16.2%	6.4%	6.9%	0.0%
過去10年間(年率)	0.9%	9.7%	9.7%	9.8%	3.9%	0.1%	14.7%	3.6%	7.3%	0.0%
2022年度	-1.7%	5.8%	10.1%	1.5%	-0.5%	-10.2%	2.4%	9.3%	-1.6%	0.0%
2021年度	-1.2%	2.0%	8.1%	-3.8%	2.0%	-5.1%	23.0%	1.6%	-2.3%	0.0%
2020年度	-0.7%	42.1%	40.5%	43.8%	5.4%	-1.9%	59.8%	16.9%	62.7%	0.0%
2019年度	-0.2%	-9.5%	-16.2%	-2.3%	4.4%	7.5%	-12.4%	-9.2%	-19.4%	-0.1%
2018年度	1.9%	-5.0%	-5.2%	-4.9%	2.5%	1.8%	10.1%	-3.3%	-3.3%	-0.1%
2017年度	0.9%	15.9%	12.5%	19.6%	4.2%	0.9%	8.5%	7.9%	19.7%	-0.1%
2016年度	-1.2%	14.7%	19.9%	10.4%	-5.4%	-1.9%	14.5%	4.6%	16.6%	0.0%
2015年度	5.4%	-10.8%	-12.6%	-8.8%	-2.7%	1.2%	-8.6%	-7.8%	-17.2%	0.1%
2014年度	3.0%	30.7%	28.0%	33.2%	12.3%	9.5%	23.5%	3.5%	17.4%	0.1%
2013年度	0.6%	18.6%	18.0%	19.4%	15.3%	1.4%	32.4%	1.7%	8.4%	0.1%
2012年度	3.7%	23.8%	21.6%	25.5%	17.7%	4.6%	29.0%	23.0%	16.9%	0.1%
2011年度	2.9%	0.6%	1.0%	0.3%	5.0%	7.9%	0.5%	2.7%	-9.2%	0.1%
2010年度	1.8%	-9.2%	-11.2%	-6.9%	-7.5%	0.6%	2.4%	0.1%	5.4%	0.1%
2009年度	2.0%	28.5%	30.5%	28.2%	0.2%	2.1%	46.8%	29.3%	71.8%	0.1%
2008年度	1.3%	-34.8%	-29.0%	-41.1%	-7.2%	5.0%	-43.3%	-13.4%	-47.3%	0.4%
2007年度	3.4%	-28.1%	-28.3%	-27.4%	0.5%	2.3%	-16.8%	-1.8%	2.6%	0.5%
2006年度	2.2%	0.3%	3.2%	-2.7%	10.2%	-0.8%	17.9%	14.5%	21.1%	0.3%

Bloombergデータより当社作成

国内債券	NOMURA-BPI(総合)
国内株式	TOPIX(配当込み)
国内株式 バリュートリプル指数	ラッセル野村バリュートリプル指数
国内株式 グロース指数	ラッセル野村グロース指数
外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
外国債券 円ヘッジ	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジベース)
外国株式	MSCI KOKUSAI(配当込み、円ベース)
新興国債券	(~2018/01)JPMorgan新興国債券指数(円ベース)
新興国株式	(2018/02~)JPMorgan新興国債券指数(除くBB-格未満、円ベース)
	MSCI エマージング・マーケット指数(配当込み、円ベース)

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

## 市場予測

		2023年 3月末 実績値	2023年 6月末 実績値	2023年 9月末 予測値	2023年 12月末 予測値	2024年 3月末 予測値	2024年 6月末 予測値	2023年度 予想騰落率 (注3)
国内債券	Nomura-BPI総合	374.74	376.29	365.25	365.89	366.36	366.83	-2.2%
	10年国債利回り	0.32%	0.40%	0.75%	0.75%	0.75%	0.75%	-
国内株式	TOPIX	2,003.50	2,288.60	2,150	2,150	2,250	2,300	12.3%
	日経平均株価	28,041.48	33,189.04	31,200	31,200	32,000	32,200	14.1%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	510.10	548.99	538.20	538.86	542.80	541.70	6.4%
	米国10年国債利回り	3.47%	3.84%	3.80%	3.70%	3.50%	3.30%	-
	ドイツ10年国債利回り	2.29%	2.39%	2.55%	2.40%	2.35%	2.20%	-
	JPMorgan新興国債券指数（利回り）（注1）	6.52%	6.24%	6.20%	6.10%	6.00%	5.90%	-
外国株式	MSCI KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）	5,644.42	6,561.38	6,160	6,240	6,230	6,230	10.4%
	S&P500	4,109.31	4,450.38	4,100	4,250	4,300	4,350	4.6%
	MSCI EUROPE指数	1,860.70	1,867.67	1,800	1,850	1,880	1,890	1.0%
	MSCI エマージング・マーケット指数	59,416.19	59,844.07	58,500	60,000	62,000	64,000	4.3%
為替	米ドル/円	133.09	144.54	140.00	138.00	137.00	135.00	2.9%
	ユーロ/円	144.60	157.69	155.40	153.18	152.07	148.50	5.2%
	JPMorgan 新興国通貨指数（円ベース）（注2）	6,764.17	7,093.78	7,070	7,038	7,056	7,020	4.3%

注1 JPMorgan GBI-EM Global Diversified Index Excluding BB- Rated CountriesについてBloombergデータより当社作成

注2 JPMorgan Emerging Market Currency Index Live SpotとBloombergデータより当社作成

注3 2023年度騰落率は、2023年3月末（実績値）から2024年3月末（予測値）までの騰落率

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

ご留意事項

---

# 投資一任契約に際しての一般的な留意事項

## ● 投資一任契約に係るリスクについて

投資一任契約に基づく運用は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従ってお客様から受託した資産の当初の評価額（元本）を下回ることがあり、さらに元本を超えて損失を被るおそれがあります。

投資一任契約の投資対象は、個別の投資一任契約毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご契約に当たっては契約締結前交付書面等をよくご覧下さい。

## ● 投資一任契約に係る費用について

[ご契約頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

### ■ 投資一任契約の期間中に直接または間接的にご負担いただく費用

…… 投資一任報酬をご負担いただきます。適用する料率は、運用の対象となる資産、契約資産残高、契約内容等に応じて異なりますので、料率、上限額等を表示することはできません。契約締結前交付書面等でご確認下さい。

### ■ その他の費用等

…… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。契約締結前交付書面等でご確認下さい。

※当該投資一任契約に係る費用の合計額については、契約期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資一任契約を想定しております。投資一任契約に係るリスクや費用は、それぞれの投資一任契約により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく契約締結前交付書面等をご覧下さい。

## 投資信託をお申込みに際しての留意事項

### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

### ●投資信託に係る費用について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入手数料上限3.85%（税抜3.5%）
- 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保金上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬上限2.09%（税抜1.9%）
- その他費用等・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。交付目論見書、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、SOMP Oアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく交付目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

## その他 留意事項

---

- 本書は、情報提供の目的でS O M P Oアセットマネジメント株式会社（以下当社）が作成した資料です。
- 本書は、当社が、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。
- 本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。
- 本書は、法令に基づく開示書類ではありません。
- 当社は、グローバル投資パフォーマンス基準（Global Investment Performance Standards, GIPS®）への準拠を表明しています。なお、当社は、2012年4月1日から2022年3月31日の期間について独立した検証者による検証を受けております。当社は機関投資家向け資産運用及び投資信託運用の意思決定過程が一体化しておりますので、GIPS基準では、全体を「会社」として定義しております。なお、当社のコンポジットの概略一覧表およびGIPS基準に準拠した提示資料は、ご請求に応じご提出可能です。GIPS®はCFA協会の登録商標です。CFA協会は、本組織を認証または推奨するものではなく、また、本書に記載されている内容の正確性または品質を保証するものでもありません。
- 請求先：S O M P Oアセットマネジメント株式会社  
投資顧問営業部 電話：03-5290-3422
- 尚、検証は、会社のコンポジットおよびプールド・ファンドの維持管理ならびにパフォーマンスの計算、提示、および配布に関する方針と手続が、GIPS基準に準拠してデザインされ、会社全体に適用されているかどうかについて保証を行うものです。検証は、特定のパフォーマンス報告書の正確性を保証するものではありません。